

# 百の記念 篠田桃紅の墨象 展

Toko Shinoda - A Lifetime of Accomplishment



1  
Discovery  
ひらく  
墨、胡粉、和紙  
1962年  
215.0x149.0cm

菊池寛実記念 智美術館

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-35 西久保ビル B1F

TEL03-5733-5131 FAX03-5733-5132 <http://www.musee-tomo.or.jp>

**プレスレビューのご案内は10頁をご覧ください。**



2 「In Days to Come ゆくへ」 墨、金泥、胡粉、和紙 2008年 70.0x180.0cm

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当館の次回の展覧会についてのご案内をさせていただきます。

篠田桃紅氏（1913年、大連生まれ）は、幼い頃から書の世界に親しみ、文字のかたちを探求するなかで水墨抽象絵画という新しいジャンルを切り拓いた墨象の芸術家です。1956年から58年にかけて滞在したニューヨークで高い評価を得て以来、国内外を問わず第一線での活躍を続けています。本展は、館内・螺旋階段に作品を設置する美術館として、今年百歳を迎えた篠田氏の創作活動を記念するものです。氏のメイン・ディーラーとして40年来活動を見守ってきたノーマン・トールマン氏所蔵の書画作品を中心に逸作をご覧ください。 敬具

## ■■■展覧会概要■■■

- 展覧会名 百の記念 篠田桃紅の墨象 展  
**Toko Shinoda –A Lifetime of Accomplishment**
- 会期 2013年4月13日(土)～5月26日(日)
- 観覧料 一般1,000円／大学生800円／小中高生500円
- 主催 公益財団法人菊池美術財団、ザ・トールマン・コレクション
- 企画・監修 ノーマン・トールマン
- 会場 菊池寛実記念 智美術館（〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-35 西久保ビル）  
<http://www.musee-tomo.or.jp>
- 開館時間 午前11時から午後6時まで（入館は午後5時30分まで）
- 休館日 月曜日（4月29日、5月6日は開館）、4月30日（火）、5月7日（火）
- 展示内容 書画約20点（1956年作から2012年作まで）、版画約10点
- 関連行事 会期中、講演会、対談、学芸員による展示解説、  
及び西洋館見学会を開催（詳細については美術館までお問い合わせください）。

展覧会に関するお問い合わせ 担当：花里・島崎（☎03-5733-5131 / FAX03-5733-5132）

## ■■■ 展覧会内容のご案内 ■■■

### 百歳を記念する展覧会～縁ある美術館にて～

篠田桃紅氏は今年3月に百歳を迎えます。記念の年に展覧会を開催するのは、当館にとりまして大変な光栄です。

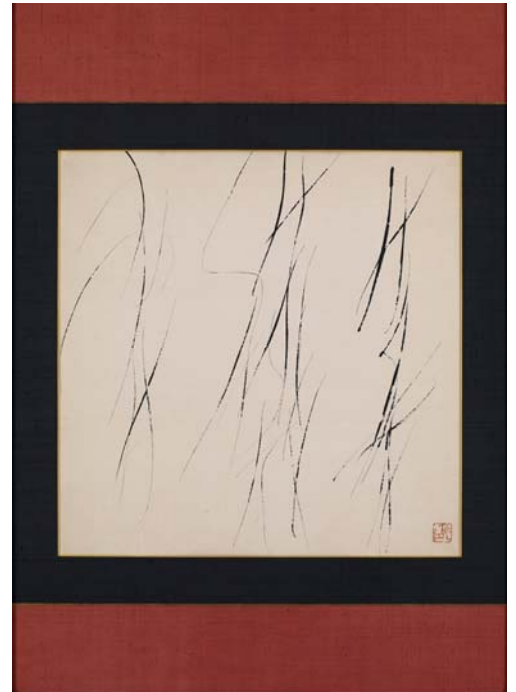
当館は2003年の開館以来、現代陶芸の紹介を中心に活動してきましたが、建物には、篠田氏と設立者である菊池智との長年にわたる交流のあかしとして、竣工当初より篠田氏の作品を2点設置しています。正面玄関を入った一階には壁画「ある女主人の肖像」が、地下一階の展示室へとつづく螺旋階段の壁面には、いろは歌の書をもとにしたコラージュ「真・行・草」があり、来館者を奥へと誘います。

本展で展示する作品は、1956年制作の作品から2012年の近作まで、書画約20点、版画約10点、計約30点です。篠田氏のディーラーとして、長年、作品を国内外に紹介してこられたノーマン・トールマン氏所蔵の作品を中心に構成いたします。

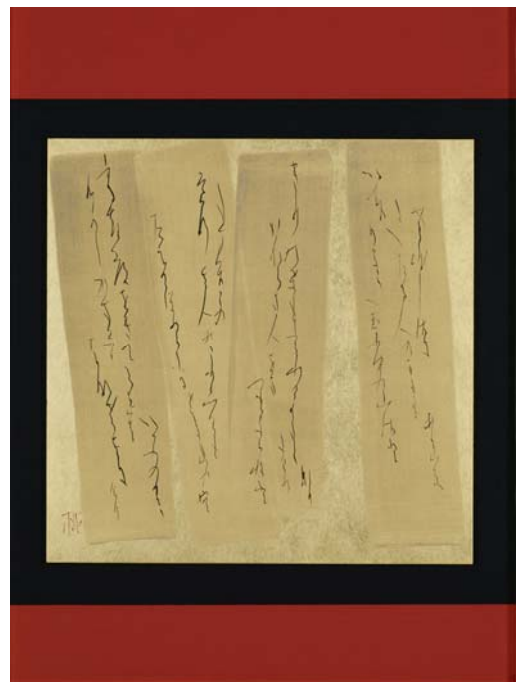
### 1956年のニューヨークで称賛

墨象（ぼくしょう）の芸術家、篠田桃紅氏は半世紀以上にわたって第一線で活躍を続けておられます。

1913年、大連に生まれた篠田氏は、幼い頃から書に親しみ、若くして書家としての活動を始め、既存の筆法や書風を超えて文字を追求するうちに抽象のかたちへと行きつきました。抽象作品が最初に認められたのは、1956年から58年にかけて滞在したニューヨークです。世界の美術の中心地で全盛期の抽象主義絵画を眼にし、作家たちとの交流から大きな影響を受け、また、彼らからの称賛が後押しとなって、帰国後は墨による独自の作風で、新たな抽象表現を確立していきました。



3 「Poetry in Motion 線」 墨、和紙  
1956年 68.0x67.0cm



4 「Golden Tablets 金言」 墨、胡粉、和紙に  
金箔 2011年 80x80cm



## 研ぎ澄まされた感性：線と墨色の魅力

一本の線であっても、余分は削ぎ落とされ、強くしなやかで、曖昧さを寄せつけない緊張感にみちています。研ぎ澄まされた感性なくしては書くことのできない線です。墨色には、光、闇、色彩が託されています。日本の四季、湿度がもたらす情感など、作家の身体が吸収したすべてが表現されています。

墨と紙は後戻りのできない素材です。筆をおろした瞬間に、紙が墨を吸ってかたちを留めます。書いたときと乾いたあとでは表情もまったく変わり、墨や紙の種類、季節や湿度によっても効果が異なるといわれています。作家によれば、同じ作品は二度とはできないとのこと。一回限りの営みを日々積み重ねてきた百年の凄みと、新しい出会いを待ち受けるみずみずしい感性とをあわせ持つ比類なき作家です。

## リトグラフやエッセイなどの多才な才能

1960年から手がけたリトグラフでは、紙の代わりに石版やジンク版を用いて墨色の可能性を追求しています。刷り上がってから手彩色を加えた独得な風合いはこの作家ならではの表現です。また、国内外からの依頼により壁画や襖絵も多数制作しています。エッセイストとしても著名で、1979年には、「墨いろ」(PHP 研究所)でエッセイスト・クラブ賞を受賞しています。



5 「Memory 回想」 墨、金泥、銀泥、紙 1996年  
76.5x55.5cm



6 「Katachi かたち」 リトグラフ、手彩  
1980年 36.0x27.0cm ed. 17/35

7 「Vermillion Vigor みなぎる朱」 朱、和紙に  
銀箔 2009年 110.0x70.0cm (2枚組)

## ■■■篠田桃紅(Shinoda Toko)略歴■■■

- 1913 大正2年3月28日、旧満州国大連に生まれる。翌年、父の転勤で東京に戻る
- 1919 この頃、初めて筆と墨に触れる
- 1935 書を教え始める
- 1940 初めての個展「書」(鳩居堂、東京)
- 1945 既成の書の形にとられない墨による新たな形を描き始める
- 1953 「日本の建築と書」(ニューヨーク近代美術館、以後アメリカ各地を巡回)
- 1954 「日本現代書展」(ニューヨーク近代美術館)  
「サンパウロ市400年祭り」日本政府館のために壁書を制作  
個展(銀座松坂屋、東京)
- 1955 「ワシントン州国際見本市」日本モデルルームのために壁書を制作  
「ヘルシンボール生活文化展」(スウェーデン)日本館のために壁書を制作  
「現代日本の書・墨の芸術-ヨーロッパ巡回展の国内展示」(東京国立近代美術館)  
「日・米抽象美術展」(東京国立近代美術館)招待出品
- 1956 個展[抽象](養清堂画廊、東京)  
渡米、ニューヨークに滞在  
個展(スエゾフ・ギャラリー、ボストン)
- 1957 個展(バーサ・シェイファース・ギャラリー、ニューヨーク)  
個展(タフト美術館、シンシナティー)  
個展(アート・インスティテュート・オブ・シカゴ)  
個展(ギャラリー・ラ・ユヌヌ、パリ)
- 1958 個展(ジェファーソン・プレイス・ギャラリー、ワシントンD.C.)  
帰国  
「抽象絵画の展開展」(東京国立近代美術館)
- 1959 「日本美術の伝統と革新 - 白隠、志功、桃紅、南谷4人展」  
(クレラー・ミュラー美術館、オテルロー、オランダ)  
個展(パレ・デ・ボザール、ブリュッセル)
- 1960 フィラデルフィア美術館から来日した刷師アーサー・フローリーの勧めでリトグラフを制作し始める
- 1961 「第6回サンパウロ・ビエンナーレ」招待出品  
「ピッツバーグ国際現代絵画彫刻展」(カーネギー・インスティテュート)招待出品  
「現代日本絵画展」(芸術アカデミー、ベルリン)
- 1962 「現代日本の書：意味と記号展」(ドイツ巡回)  
「近代日本の造形 絵画と彫刻」(東京国立近代美術館)  
日南市文化センター講堂に緞帳を、ホワイエのために陶壁を制作(宮崎)
- 1964 国立代々木競技場のために壁画を制作(東京)

- 1965 個展 (ベティー・パーソンズ・ギャラリー、ニューヨーク) 68年、71年、77年も開催  
国立京都国際会館2階ロビーのためにレリーフと壁画を制作
- 1966 個展 (ベルリン市庁舎)  
個展 (フランネル・ギャラリー、東京)  
「カナダ・モントリオール万国博覧会」日本館のために壁画を制作  
個展 (レツィルクザムト・フォン・ベルリン)  
第1回ジャパン・アート・フェスティバル (ニューヨーク、シカゴ等巡回)
- 1967 「ROSC '67 (第1回展) 世界50人展」(ロイヤル・ダブリン・ソサエティー)
- 1970 京王プラザホテル貴賓室、次特別室、ロビー、客室に屏風とリトグラフを制作 (東京)
- 1971 「ROSC '71、10人の作家展-デュビュッフェ、アルトゥング、デ・クーニング、ミラレス、  
ミロ、ピカソ、篠田、スーラージュ、タピエス、ザオ・ウォーキー」(ロイヤル・ダブリン・ソサエティー)
- 1972 個展 (日本橋高島屋、東京)
- 1973 「戦後日本美術の展開 - 抽象表現の多様化」(東京国立近代美術館)
- 1974 増上寺大本堂、ロビーのために壁画を、道場のために襖絵を制作 (東京)
- 1976 個展 (トールマン・コレクション、東京)
- 1977 ワシントン駐米大使公邸のために壁画を制作
- 1978 個展 (高島屋美術画廊、岐阜)
- 1979 ホテル・ヴィトシャのために壁画を制作 (ソフィア、ブルガリア)  
随筆集「墨いろ」で第27回日本エッセイスト・クラブ賞受賞  
「岡田・篠田・津高 - 20世紀日本抽象絵画三人のパイオニア」  
(フィリップス・コレクション、ワシントン、以後アメリカ各地を巡回)
- 1980 芝増上寺大本堂にて個展「創造と伝統」、絵画と版画を制作  
(トールマン・コレクション主催、東京)
- 1982 個展「篠田桃紅展 銀と墨」(ギャラリー・ところ、東京)
- 1984 彫刻家との二人展 Toko Shinoda and Elizabeth de Cuevas (ブルース美術館、コネチカット州)
- 1986 ノーベル賞のための「オマージュ・オ・ノーベル」(オリジナル・リトグラフ)を刊行  
個展「TOKO SHINODA RECENT WORKS -Brush Paintings-」  
(ギャラリー・ところ、東京)  
個展「篠田桃紅 ドローイング展」(Galerie 412、東京)
- 1988 個展「篠田桃紅 新作展」(養清堂リフレクション・ギャラリー、東京)
- 1989 個展「篠田桃紅展」(西武美術館主催、有楽町アート・フォーラム、東京)  
「絵画と文字：描かれた文字 / 書かれた絵」(北海道立函館美術館)
- 1991 個展 (高島屋美術画廊、岐阜)
- 1992 「書と絵画の熱き時代・1945～1969」(O美術館、東京)  
個展「篠田桃紅 1982-1992 版画展」(ギャラリー・ユマニテ・名古屋2、名古屋)  
回顧展「篠田桃紅 時のかたち」(岐阜県美術館)

- 1993 トールマン・コレクションによる回顧展「篠田桃紅 - 新たなる認識」  
(版画集 篠田桃紅「A New Appreciation」(タトル出版) 刊行記念 (銀座三越、東京)  
御所 御食堂のために絵画を制作
- 1994 「戦後日本の前衛美術」(横浜美術館、以後グッゲンハイム美術館、  
サンフランシスコ近代美術館へ巡回)  
個展 (シンシナティー美術館)  
国際協力事業団大阪国際センターのために壁画を制作 (大阪)  
岐阜県民文化ホール未来会館のために絵画を制作  
川崎市国際交流センターのために絵画を制作
- 1995 「戦後文化の軌跡 1945-1995」(目黒区美術館、他巡回)
- 1996 福岡 RKB 放送センター、ロビーに壁画を制作  
シンガポール・国立アート・ミュージアム初の日本人作家による個展「TOKO SHINODA -  
VISUAL POETRY」(トールマン・コレクション主催)
- 1997 個展 (鎌倉画廊、東京)  
個展 (画廊 光芳堂、岐阜) 2002 年も開催
- 1998 個展 (アネリー・ジュダ・ギャラリー、ロンドン)
- 1999 東京文化会館の名称ロゴを制作  
個展「篠田桃紅展 新作ドローイング、銅版画」(養清堂画廊、東京)  
ルクセンブルク大公妃殿下のご訪問を受ける
- 2000 東邦ガス本社のために壁画を制作 (名古屋)
- 2001 草月会館にて個展 (25年間のトールマンコレクション発行版画を集めた回顧展、東京)  
個展「境を超えて」(モルガン・スタンレー・ディーン・ウィッター・ジャパン主催  
恵比寿ガーデンプレイス、東京)  
個展「篠田桃紅近作展」(ギャラリー・ユマニテ、東京)  
個展 (光玄、名古屋)
- 2003 90歳記念個展「篠田桃紅 朱よ」宮内庁収蔵作品も貸出展示 (トールマン・コレクション  
主催、原美術館、東京)
- 2005 個展「墨いろに心を託した作家のあゆみ」(トールマン・コレクション主催、新生銀行本店  
20階ホール、東京)
- 2009 個展 (トールマン・コレクション主催、蘭クラブ、北京)
- 2011 個展 リヒテンシュタイン・グローバル・トラスト (LGT 銀行) 香港開業25周年記念個展  
(トールマン・コレクション主催、エクステンジ・スクエア内ロタンダ、香港)
- 2012 個展「Guided by the Brush」(トールマン・コレクション、ニューヨーク)
- 2013 個展「50 Prints & Paintings, Toko Shinoda at 100」(トールマン・コレクション監修、ポートラ  
ンド日本庭園、オレゴン州)  
個展 「Trailblazer」 (ジャパンソサエティ、ニューヨーク)  
100歳記念個展「篠田桃紅の墨象」(トールマン・コレクション共催、智美術館)

## ■■■パブリック・コレクション（抜粋）■■■

オルブライト・ノックス美術館（ニューヨーク）、アート・インスティテュート・オブ・シカゴ  
大英博物館（ロンドン）、ブルックリン美術館（ニューヨーク）、シンシナティ美術館  
フォッグ美術館（ハーバード大学付属、マサチューセッツ）、原美術館（東京）  
フォルクヴァング美術館（エッセン、ドイツ）、国立ベルリン東洋美術館  
関市立篠田桃紅美術空間（岐阜県）、岐阜県美術館、富山県立近代美術館、東京国立近代美術館  
クレラー・ミュラー美術館（オテルロー、オランダ）、シンガポール・国立アート・ミュージアム  
スミソニアン・アーサー・M・サックラー・ギャラリー（ワシントンD.C.）  
グッゲンハイム美術館（ニューヨーク）、ハーグ市立美術館（デン・ハーグ、オランダ）  
ティコティン日本美術館（ハイファ、イスラエル）  
ボストン美術館、スミス大学美術館（マサチューセッツ州）、メトロポリタン美術館（ニューヨーク）  
ロックフェラー財団（ニューヨーク）、フォード財団（ニューヨーク）  
ルクセンブルク王室  
菊池寛実記念智美術館（東京）、増上寺（東京）、宮内庁（東京）、駐米日本大使公邸（ワシントンD.C.）  
日本銀行（東京）、東京アメリカン・クラブ、京都迎賓館

## ■■■展覧会関連行事■■■

展覧会会期中、講演会、ギャラリートーク、西洋館見学会などの関連行事を開催いたします。

### ●講演会・対談

記念講演会 「時のかたちを追って」

正村美里氏（岐阜県美術館学芸員） 4月27日（土）

当館 B1 階展示室にて 午後3時より（観覧料のみ、聴講無料）

### ●学芸員による ギャラリートーク

5月11日（土）、18日（土） 各日午後2時より

### ●西洋館見学会（予約制・定員20名様）

4月27日（土）／5月18日（土） 各日11時より

当館敷地内の西洋館（登録有形文化財）は、大正時代に建てられた後、修復を重ねながらも建具等の室内装飾が丁寧に保全され、今日まで使用されている希少な建物です。通常非公開の内部を、展覧会の期間中に特別公開いたします。

※西洋館のご案内（建築家 篠田義男氏による）、美術館観覧料（学芸員の解説付き）、レストラン ヴォワ・ラクテでのランチを含め、お一人様8,000円です。



■本展覧会について広報媒体へ掲載、取材をいただく場合、本リリースで紹介されている作品画像をデータでお貸し出しいたします。申込書のご希望の図版に☑を記し、用紙を返信のうえ、お問い合わせください。ご紹介いただく記事、番組内容については、情報確認のため校正の段階で事務局までお知らせください。お貸し出す画像データは本展覧会終了をもって使用期限とさせていただきます。作品の画像を1点以上ご掲載の上、本展をご紹介くださる媒体に対し、本展ご招待券を読者プレゼント用に提供いたします。申込書、所定の欄に招待券希望の旨を明記してください。

**掲載に関するお問い合わせ先** 菊池寛実記念 智美術館 (担当：花里、島崎)

TEL.03 (5733) 5131 FAX.03 (5733) 5132 <http://www.musee-tomo.or.jp/>

## 掲載・画像貸出申込書

返信先 FAX : 03-5733-5132

### ●貴社基本情報

会社名:	
担当部署:	担当者名:
住所:	
電話	ファックス:
E-MAIL:	

### ●媒体情報

新聞 雑誌	媒体名:
	発行日:
TV ラジオ	媒体名:
	放送日:
ネット	URL:

### ●画像貸出リスト ※キャプションには作者/作品名/制作年/撮影者を必ず入れてください。

希望作品に☑	作品キャプション
<input type="checkbox"/>	1 篠田桃紅「Discovery ひらく」 墨、胡粉、和紙 1962年 215.0x149.0cm 撮影:清水尚
<input type="checkbox"/>	2 篠田桃紅「In Days to Come ゆくへ」 墨、金泥、胡粉、和紙 2008年 70x180.0cm 撮影:清水尚
<input type="checkbox"/>	3 篠田桃紅「Poetry in Motion 線」 墨、和紙 1956年 68.0x67.0cm 撮影:清水尚
<input type="checkbox"/>	4 篠田桃紅「Golden Tablets 金言」 墨、胡粉、和紙に金箔 2011年 80.0x80.0cm 撮影:清水尚
<input type="checkbox"/>	5 篠田桃紅「Memory 回想」 墨、金泥、銀泥、和紙 1996年 76.5x55.5cm 撮影:清水尚
<input type="checkbox"/>	6 篠田桃紅「Katachi かたち」 リトグラフ、手彩 1980年 36.0x27.0cm ed. 17/35 撮影:清水尚
<input type="checkbox"/>	7 篠田桃紅「Vermillion Vigor みなぎる朱」 朱、和紙に銀箔 2009年 110.0x70.0cm(2枚組) 撮影:清水尚

●読者プレゼント用チケット希望: 5組10名様 10組20名様

## プレスプレビューのご案内

前回ご好評をいただきましたプレスプレビューをこのたびも開催いたします。

当日は展覧会の内容を当館館長林屋晴三がご案内申し上げます。展覧会の企画・監修者ノーマン・トールマン氏も同席される予定です。

ご多用のなか恐縮に存じますが、どうぞご出席くださいますようお願い申し上げます。

菊池寛実記念 智美術館

### プレスプレビュー 2013年4月12日(金) 14:00～

14:00～14:45 当館館長が展覧会の見どころをご説明申し上げ、作品解説などギャラリートークを行います。展覧会の企画・監修者ノーマン・トールマン氏も同席される予定ですのでインタビューなどをお受けいたします。また、展覧会場内ご撮影いただけます。

14:45～15:00 皆様からのご質問にお答えいたします。

会場： 菊池寛実記念 智美術館 〒105-0001 港区虎ノ門 4-1-35 西久保ビル B1

- ・日比谷線・神谷町駅出口 4b より徒歩 6 分
- ・南北線・六本木一丁目駅改札口より徒歩 8 分
- ・南北線／銀座線・溜池山王駅出口 13 より徒歩 8 分
- ・銀座線・虎ノ門駅： 出口 3 より徒歩 10 分

◆.....  
ご出席いただける場合は、下記フォームにご記入の上、FAX にて

ご返信下さい。 **返信先 FAX 03-5733-5132**

会社名:	
担当部署、氏名	
住所:	
電話:	FAX:
Email	